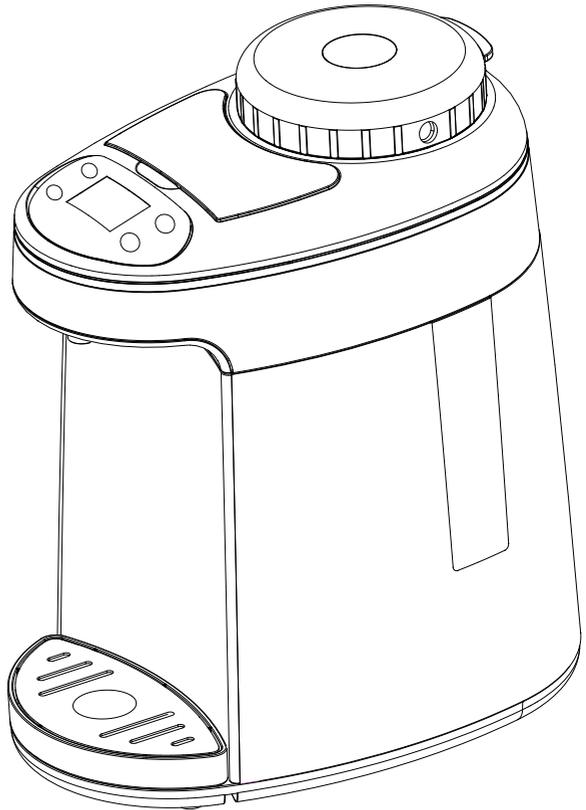


H2 MULTI POD (水素マルチポッド) 取扱説明書



この度は、本製品をご購入頂き誠にありがとうございます。
本製品を使用する際は、安全のために注意事項をよく読んでご使用ください。
また、本製品ご使用前に本紙を必ずお読みください。

この度は、本製品をご購入頂き誠にありがとうございます。
本製品を使用する際は、安全のために注意事項をよく読んでご使用ください。
また、本製品ご使用の前に本紙を必ずお読みください。
本製品は、ご家庭での使用を目的としております。

ITEC INTERNATIONAL 株式会社
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-2 神田パークプラザ 5 階

お客様専用ダイヤル:0120-35-8888

URL:<http://itec-ltd.jp>
mail:info@itec-ltd.jp

目次

1	安全上のご注意	P.03
2	仕様	P.06
3	本体・部品名称	P.07
4	ご使用前の準備	P.09
5	使用方法	P.13
	水素水生成	P.13
	加温機能	P.15
	生成した水素水を飲む	P.18
	水素ガス吸引方法	P.19
	水素ガス吸引時の、各種操作方法	P.20
	排水方法	P.21
6	システムメニューと設定	P.22
	「LED ライト表示設定」の ON/OFF 設定	P.22
	各種設定	P.23
	「精製水フィルター」を交換する際の、操作方法	P.24
7	クリーニングおよびメンテナンス	P.25
8	トラブルシューティング	P.27
9	製品の使用に関する Q&A	P.29
10	保証書	P.30

1 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。



警告

死亡や重症に結びつく恐れがある内容です。



注意

軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■ お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければならない「指示」内容です。

警告



改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水に浸けたり、水をかけたりしない。流し台など水にぬれた場所に置かない

水ぬれ禁止

ショート・感電の恐れがあります。



ぬれた手で電源コードを抜き差し、しない

ぬれ手禁止

感電・けがの恐れがあります。



加温中は、上フタや、コネクター差込口や本体に触ったり、手や顔を近づけない

接触禁止

やけどの恐れがあります。特に乳幼児に触らせないようにご注意ください。



上フタやコネクター差込口をふさがない

禁止

やけどの恐れがあります。上フタの変形・変色や故障の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの恐れがあります。



満水表示以上の水を入れない

禁止

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。



Max. 1800ml

上フタをつけたまま残り湯を捨てない

上フタがはずれたときに湯がかかって、やけどの恐れがあります。

本体を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、上フタを持って移動や排水をしない

本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口やコネクター差込口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

ポットを転倒させない

本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口やコネクター差込口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

上フタを勢いよく閉めない

湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。



警告



禁止

火気・直射日光の当たる場所、暖房器具の近く等高温になる場所での、ご使用・保管・放置はしない

空気が密閉されるような場所(密室)では使用しない

熱がこもり故障の原因になります。

上フタにあるコネクター差込口の穴を、コネクター以外でふさがない

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

水を入れて保冷用に使わない

結露が生じ、感電、故障の原因になります。

水以外を入れたり、沸かしたりしない

泡立ちが起こり、内容物がふきだして、やけどの恐れがあります。

また、水路や電動ポンプ内が詰まったり、焦げつきや腐食やカビなどの原因の恐れがあります。

- 牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバック・お茶の葉
- インスタント食品の調理
- レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理



必ず実施

電源コードにほこりなどごみを付着させない

感電・ショート・発火の原因になります。

上フタは確実に閉める

倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。

たこ足配線をしない

コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

異常・故障時には直ちに使用を中止する

そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。

<異常・故障例>

- 電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
- 本体が変形したり、異常に熱くなる
- 本体から煙が出たり、焦げくさいにおいがする
- 本体の一部が割れたり、緩みやがたつきがある

このような場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠ 注意



上フタを開けるときの、出る蒸気に触れない

接触禁止

やけどの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない

やけどの恐れがあります。



不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない

禁止

火災の原因になります。

加温中は、湯を注がない

湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

本体を持ち運ぶときは、上フタ取手に触れない

上フタが開いて、けが・やけどの恐れがあります。

排水中に本体を回さない

湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。



壁や家具の近くで使わない

禁止

蒸気または熱で家具を傷め、変色・変形の原因になります。

熱源のそばやIH調理器の上で使用しない

火災・故障の原因になります。

専用の電源コード以外は使用しない

また海外仕様の電気製品に使用しない
故障・発火の原因になります。

使用時以外は、電源コードをコンセントから抜く

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



お手入れは冷めてから行う

必ず実施

やけどの恐れがあります。

電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端を持って抜く

感電・ショート・発火の原因になります。

お願い

■ 本体を引きずって移動しない

机などに傷がつく恐れがあります。

■ 落とす・ぶつけるなどの衝撃を与えない

故障・破損の原因になります。

■ キッチン用収納棚などで使用する場合、加温・フタを開けた際、蒸気が天井部分に当たらないように注意する

蒸気によって天井部分などが変色・変形する場合があります。

■ 凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ずタンク内の容器の水を完全に捨てる

凍結による故障の原因になります。

■ 空だきはしない

火災・故障の原因になります。

■ 環境により、ラジオ・テレビ・無線機、インターホン等に雑音(ノイズ)が入る場合があるので、近くでの使用は避ける。

雑音が入る場合、影響のないところまで離してご使用ください。

■ 他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■ コントロールパネル(操作部)には水分がかからないように注意する

かかった際には、直ちにふき取りしてください。

故障の原因になります。

2 仕様

品名		H2 MULTI POD(水素マルチポッド)
Model No		OY-FF02
特徴		加温機能 50°C・65°C・80°C
		高濃度水素水生成 高純度水素ガス生成
容量		1.8 L
電圧		AC 100V , 50/60Hz
定格出力		200W
水素ガス純度		> 99.999%
水素水	濃度	0.5 - 1.2 ppm*
	ORP	-250 ~ -550 mv (approx.)*
	pH	水の PH は変化しません。
加温温度		50°C ・ 65°C ・ 80°C
水素ガス		> 12 ml/min
外形寸法 (W x D x H)		185 x 290 x 330 (mm)
重量		約 3 kg
使用環境温度		5°C ~ 40°C
次亜塩素酸とオゾンの副産物なし		

* 水質や水温によっては、ORP 値及び、水素溶存濃度は変化する場合があります。

3 本体・部品名称

各部位

精製水タンク

- ・精製水タンクを精製水タンク受けにセットし、精製水を注ぎます。(約 300ml 程度)
- ・クリーニングおよびメンテナンスを参照下さい。(P.25 参照)

カニューレコネクター (付属品)

- ・カニューレを使用する際は、カニューレコネクターをフタ横穴(コネクター差込口)に接続して使用します。

フィルターレバー

精製水フィルター

精製水フタ

精製水タンク受け

- ・精製水タンクをセットします。

コントロールパネル

給水口

- ・水素水注水口
- ・ご購入時、キャップが付いております。外してご使用下さい。

水受けフタ

水受けトレイ

排水チューブ

- ・「排水方法」の使用手順をご参照ください。(P.21 参照)
- ・ご使用後は、排水チューブキャップを必ず取り付けてください。水漏れの原因となります。

加熱ヒーター

LED ライト

水素生成部

上フタ取手

上フタ

コネクター差込口

- ・コネクター差込口を、コネクター以外で塞がないで下さい。

上フタ内側パッキン

- ・本体の水漏れを防ぎます。

飲料水タンク(注ぎ口)

- ・熱に強い強化ガラス

満タン水位

水位窓

電源コード

コード綴じ紐

- ・ご使用になる前に、綴じ紐を外してご使用下さい。

コントロールパネル

軽く触れるだけでボタン操作ができます。

ディスプレイ

- ・作動状況が表示されます。

水素水生成時点灯

- ・水素水の生成時に、ランプが点灯します。

加熱ランプ

温度ボタン

- ・加熱開始 (P.16 参照)
(加熱機能スタート)
- ・加熱温度設定 (P.15 参照)

スタートボタン

- ・水素水の生成を開始します。(P.13 参照)
- ・各種設定内容、保存の際使用します。(P.23 参照)

給水時点灯

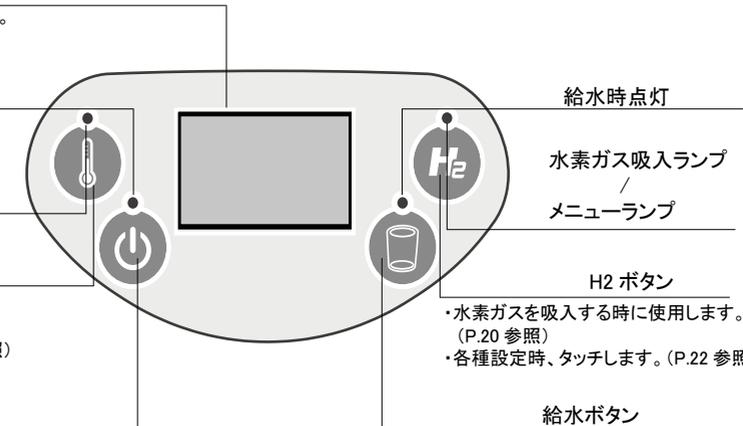
水素ガス吸入ランプ / メニューランプ

H2 ボタン

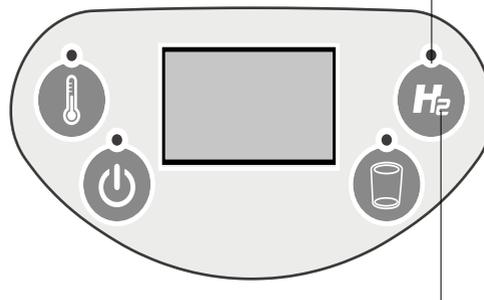
- ・水素ガスを吸入する時に使用します。
(P.20 参照)
- ・各種設定時、タッチします。(P.22 参照)

給水ボタン

- ・1回押すとロック解除、再度押すと飲料水がでます。(P.18 参照)



水素ガス吸入ランプ / メニューランプ



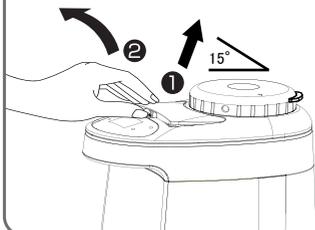
水素ガス吸入メニュー

- ・水素ガスタイマー設定 (P.20 参照)
- ・メニュー機能の実行にも使用します。(P.22 参照)

4 ご使用前の準備

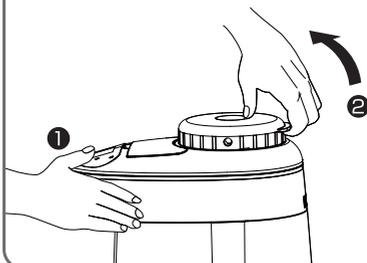
精製水フタの取り外し / 取り付け方法

- 取り外し
 - ① 精製水フタを約 15 度持ち上げます。
 - ② 精製水フタを手前に引いて取り外します。
- 取り付け 精製水フタを取り外しと同じ角度でカチッと閉じるまで押し込んでください。



上フタの開閉方法

- 開く
 - ① ポット本体を押さえます。
 - ② 上フタ取手を使用して上フタを持ち上げます。
- 閉じる 上フタが本体に隙間なく、しっかり閉じるまで上フタを軽く押しします。



本製品には、「精製水」と「飲用に適した水」をご用意ください。

精製水タンクには、「精製水」を、飲料水タンクには、「ミネラルウォーター及び浄水した水」を入れてください。

精製水タンク内には、必ず「精製水」をご使用ください。故障の原因となります。

「精製水タンク」に入れる水について

精製水をご使用下さい。



水道水・浄水した水などは
使用しないでください。

精製水タンクに入れる水は、水素生成するための電気分解専用です。飲用はできません。

精製水を使うことで、水素生成の性能を長く維持することができます。

精製水フィルターは「水素ガス生成」するための、浄水用となります。飲料水の浄水ではありません。

必ず付属の「精製水」をご使用下さい。

・不純物総溶解度 (TDS) - 100ppm 未満

・伝導性 - 200 μ s/cm 未満



水道水もしくは浄水した水、ミネラルウォーターは、使用しないでください。
故障の原因となります。

推奨

付属の精製水のご使用をお勧めします。

飲料水タンクに入れる水について

浄水した水・ミネラルウォーターを
ご使用ください。



浄水していない水・水道水は
使用しないでください。

飲料水タンク内の飲料水は、水素水・温水水素水を生成します。

必ず浄水した水・ミネラルウォーターなど、飲用に適した水をご使用下さい。
浄水していない水を使用しますと、故障の原因となります。



硬水や水道水など使用したために、本タンク内のクリーニングが必要となった場合や、その結果生じた損失については保証の対象外となります。

水以外のものを本製品に入れしないでください。



加熱後に水に含まれるカルシウムなどミネラル分が、タンク内に結晶化した状態になる場合があります。

これは水に含まれるミネラルが原因であり、健康に害はありません。

月に1回程度の、クエン酸を使用したクリーニングを行うことをお勧めします。(P.24 参照)

初めてご使用になる前に本製品をクリーニングするには、
P.25 の「クリーニングおよびメンテナンス」を参照してください。

初めてご使用される前に

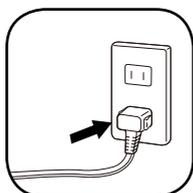
- 1 ご使用の際には、本製品を乾燥した水平な場所へ置いてください。



- 2 「精製水フィルター」に、フィルターレバーを取り付けてください。(図①)
 「精製水タンク」内に、「精製水フィルター」を入れ、本体に設置します。
 (初めてご使用する際に、レバーを取り付けて設置してください)



- 3 コンセントを差し込みます。
 ※「図2」 購入時、給水口にキャップがついております。外してご使用下さい。



※検査時の水が出る場合があります。

- 4 言語を選択します。(初回使用時のみ)

初回使用時

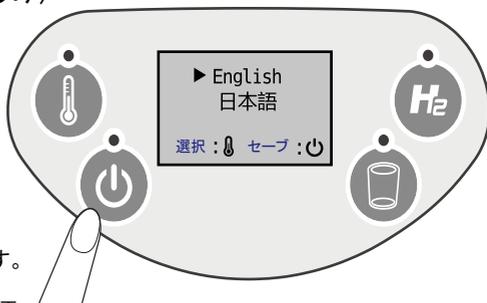
- ・ 温度ボタンを押して、選択します。

メニューから言語を選択します。

- ・ スタートボタンを押して、保存してください。

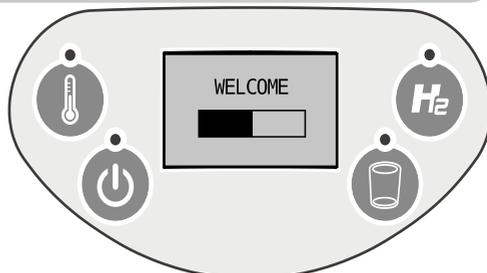
※言語を選択後、再始動しても選択した言語が毎回ディスプレイに表示されます。

※設定して 30 分間以上製品を使用せず電源を抜いた場合、再度言語設定が必要になる場合があります。

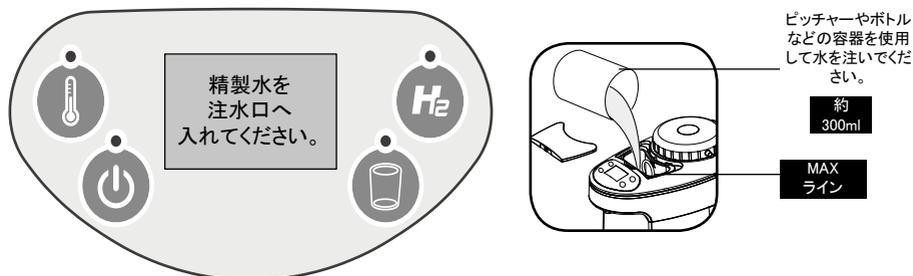


設定後、再度、言語を変更するには、設定手順 P.23 を参照してください。

始動までに、10 秒程度かかります。



5 精製水を「精製水タンク」内に、MAX ラインまで入れます。



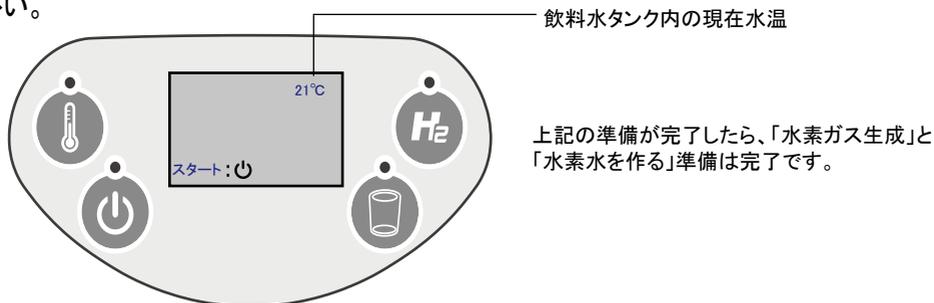
- ・シンクなどの濡れた面に本製品を置いたりしないでください。
- ・MAX ラインを超えないようにしてください。
- ・精製水を入れて、機器が感知するまで、一定の時間が掛かる場合があります。
- ・必ず精製水を入れてください。故障の原因となります。

6 上フタを開き、飲料水タンクに浄水した水やミネラルウォーターを MAX ラインまで入れます。



- ・蛇口から直接水を注いだり、シンクなどの濡れた面に本製品を置いたりしないでください。
- ・MAX ラインを超えないようにしてください。
- ・水道水を入れしないで下さい。

7 ご使用になる前に、「精製水フタ」と「上フタ」が閉じていることを、再度確認してください。



5 使用方法

ご使用前に、必ず「精製水タンク」へ「精製水フィルター」を取り付け、精製水を入れてください。(P.12 参照)
「飲料水タンク」にはミネラルウォーターもしくは浄水した飲料水を MAX ラインまで入れてください。

※ MAX ラインを超えないでください。

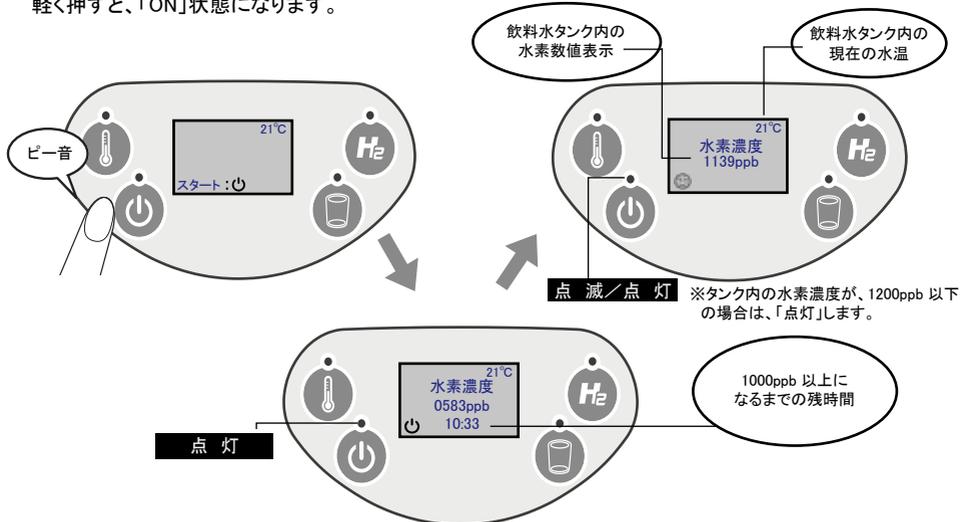
※ 使い始めはプラスチックのにおいがする場合がありますが、使い続けるうちになくなります。
においがしても健康上問題ございません。

水素水を作る

水素水生成

■ **⏻** を1回押すと、ピーと音がり、水素水を生成します。

軽く押すと、「ON」状態になります。



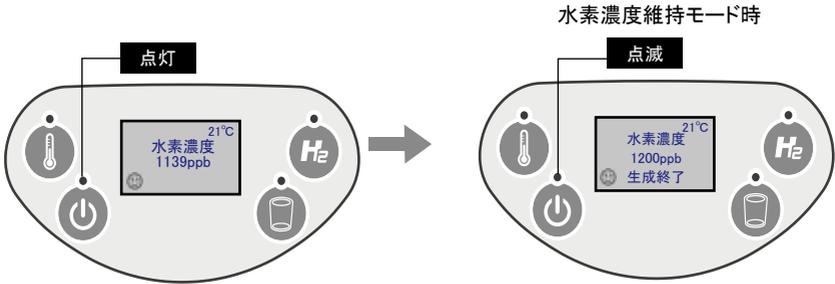
【飲料水タンク内の水素濃度と LED ライト詳細】

- ・15 分で水素水生成開始(常温) ⇒ LED 淡いブルー点灯
- ・15 分で約 1,000ppb ⇒ LED ブルー点灯
- ・30 分で、Max1,200ppb ⇒ ピー音が5回

※水温や水質によっては、数値が変化する場合があります。
※飲料水タンク内のLEDライト表示はオフにすることができます。
設定手順については、P.22 を参照してください。

水素濃度をキープします。

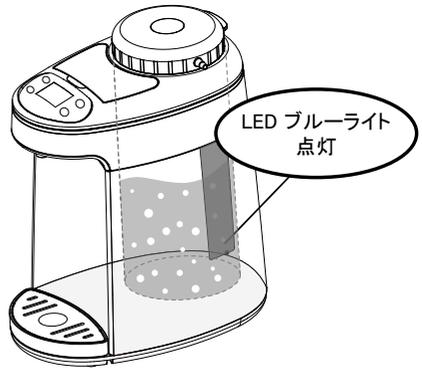
水素水の濃度が 1,200ppb に達すると、「水素濃度の自動維持」モードになり、水素濃度を自動的に維持します。



・「水素濃度の自動維持」モード中に気泡の量が減ったり気泡が小さくなったりしますが、故障ではありません。

・初期開始から 30 分が経過すると、不要な水素生成を減らすようプログラムされています。

・「水素濃度自動維持モード」は、生成終了後、3 時間でピッと音がなり、作動が終了します。



①「水素濃度の自動維持モード」中、再度、スタートボタンを押した場合

②加温後、ポット内水温が、設定温度より「3度低下した場合」

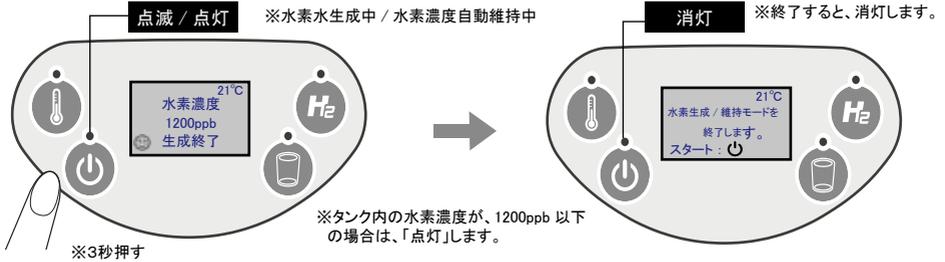
①もしくは②の場合、「生成開始」と表示され、生成を再開します。



電源を切る。

■  を3秒間長押しします。

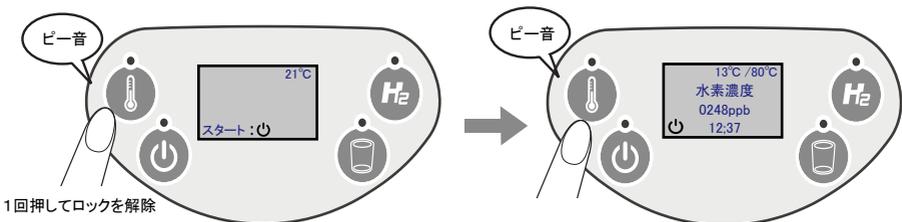
「水素水の生成ON / 水素濃度の自動維持中」
全ての操作を終了する場合に操作してください。



加温機能

設定温度を変更したい場合

■ 温度設定を変更するには、 1回押ししてロックを解除し、2回連続で押しと加温設定を変更することが出来ます。温度ボタンを押し、設定温度を選択します。



 「温度ボタン」を押すごとに、右記のように、加温設定温度のみ変更されます。ご希望の温度の箇所ではめると、その温度で加温します。

ポット内温度 / 加温設定温度



お好きな加温温度を簡単に設定できます。

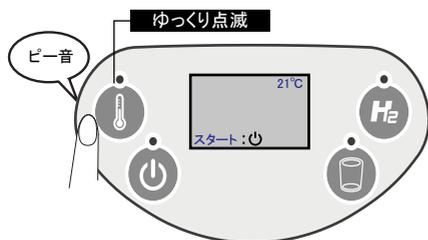
※「飲料水タンク」内が空の状態では加温機能(温度ボタン)をオンにしないでください。

加温と温度キープ機能

ホット水素水を作るときに使用します。

- 1 温度ボタンを、1回押して、ロック解除してください。

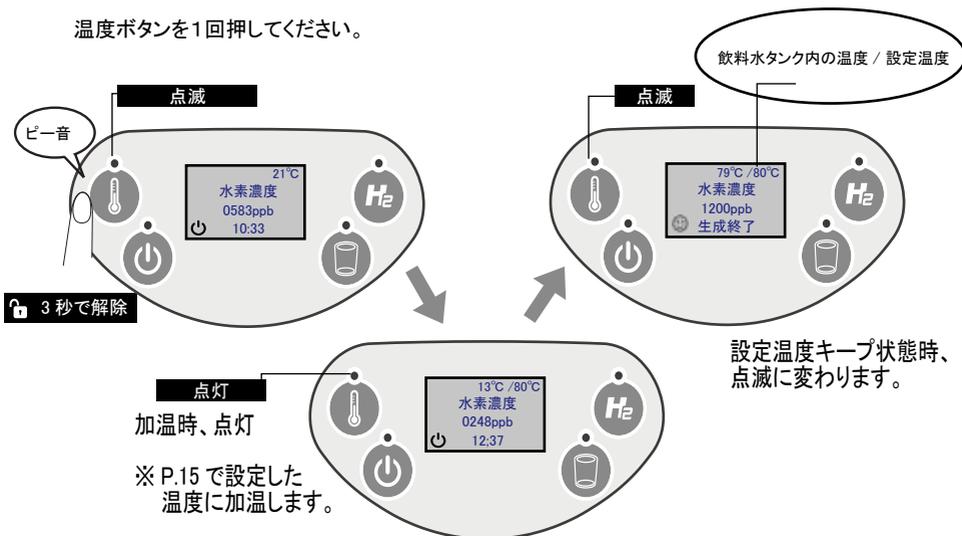
水素水の生成中でも、生成中でなくても操作可能です。



緑の加温ランプがゆっくり点滅し、3秒間ロック解除され、操作することが出来ます。

- 2 ボタンを再度押すと、初回で設定した温度へ加温と温度維持できます。

温度ボタンを1回押してください。



設定温度キープ状態時、点滅に変わります。

加温を停止したい場合は、温度ボタンを再度押すと、停止します。

3時間の自動加熱停止

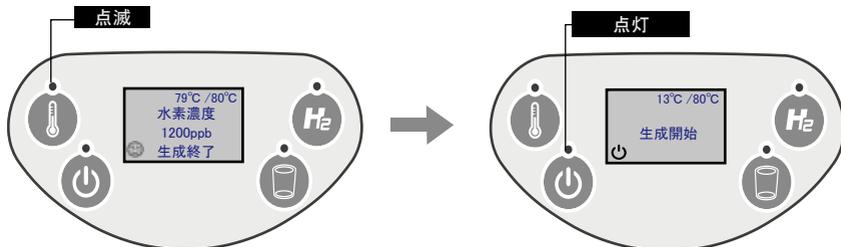
加温機能をオンにすると、設定温度をキープしますが、何も操作を行わなかった場合は、3時間後に「加温」と「水素生成」を自動的に停止します。

安全保護機能付き：タンク内が高温になった場合、自動的に加温・水素生成機能を停止致します。故障ではありません。

加温設定時に、水素濃度維持(水素生成)を自動で再開します。

■ 「水素濃度維持(水素生成)の自動再開」機能は、加温機能がオンになっている間に使用できます。

加温機能がオンの状態で、新しい飲料水を「飲料水タンク」に補充し、水温が設定温度より3℃低下すると、設定温度まで加温を自動的に行います。さらに、同時に水素の生成を15分行います。



自動オーバーヒート保護機能

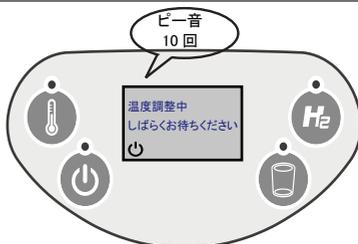
■ 安全保護機能が作動した場合、「ピー音」が10回鳴ります。

「安全保護機能が作動する場合」

- ① 「飲料水タンク」内に、90℃以上のお湯を入れた場合
- ② 「飲料水タンク」内に、水がない状態

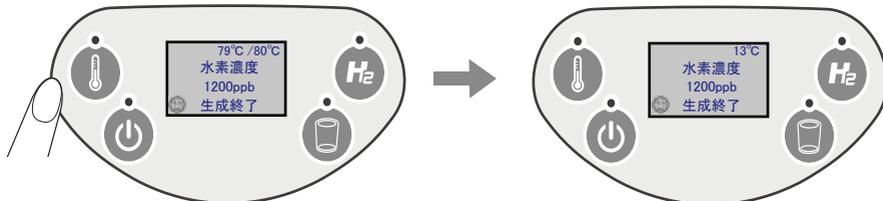
①・②のいずれかの状況の際、安全保護機能が起動し、ヒーターが冷めるまですべての機能が一時停止します。

※安全保護機能とは・・・飲料水タンク内が高温になった場合、停止する機能です。



加温と温度維持OFF

温度ボタンを1回押すと停止します。

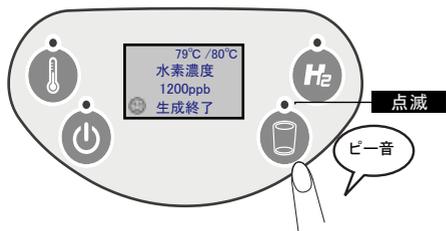


水素水の生成中に「加温と温度維持」機能がオンになっている場合、水素水の生成をオフにすると「加温と温度維持」機能もオフになります。

再度、加温したい場合は、「温度ボタン」を押してください。

生成した水素水を飲む

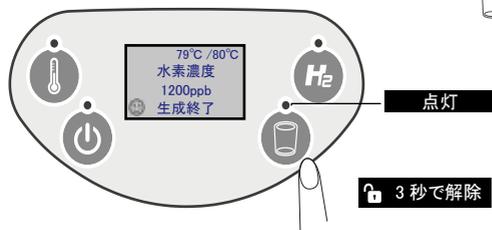
- ① ボタンを一度タッチし、ロックを解除します。



緑の給水ランプが点滅し、給水機能のロックが解除され、給水することができます。

※給水ランプが、点灯していない時は、給水できません。
再度、ロックを解除してから給水してください。

- ② ボタンを再度押し、給水します。



ロックを解除した後 3 秒以内に再度「コップボタン」に軽く触れると、給水できます。
給水中は、緑の「給水」ランプが点灯します。

自動給水停止機能

- コップ ボタンを 1 回押すと、約 10 秒間給水され、自動的に給水が停止します。[約 250ml (± 10%)]
10 秒以内に給水を停止するには、ボタンを再度押します。

給水が終わるとすぐに給水ランプがオフになり、給水ロックがオンになります。

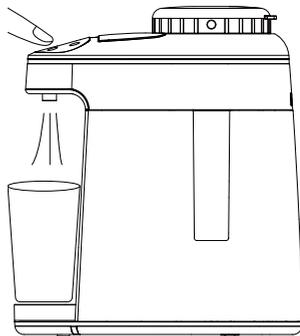
給水ロックとは

- ボタンが誤って押された場合の給水を防ぐための自動安全機能です。
給水されない場合は、3 秒後に給水ロックがオンになります。

※ 給水後に本製品を傾けたり振ったりしないでください。
注ぎ口から水滴が落ち、水が高温の場合はやけどをする恐れがあります。

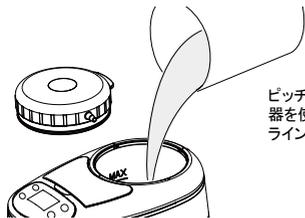
【熱湯に注意】

熱い水素水を注ぐ際、必ず耐熱コップを図のようにセットしてから注いでください。
やけどする恐れがありますので、ご注意ください。



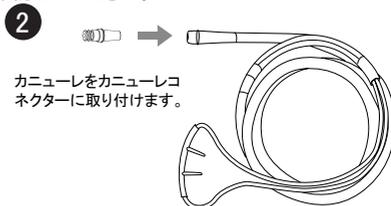
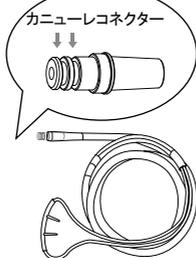
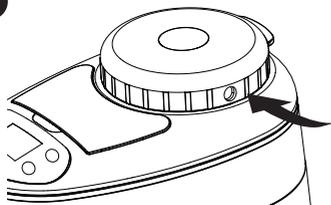
カニューレとカニューレコネクタを接続します。

1 ※ご使用前に、「精製水タンク」に「精製水」が入っているか確認してください。



ピッチャーやボトルなどの容器を使用し、飲料水を MAX ラインまで注ぎます。

3 カニューレコネクタをコネクタ差込口に差し込みます。



2 カニューレをカニューレコネクタに取り付けます。

4 「H 2ボタン」を押すと水素ガスを吸入することができます。

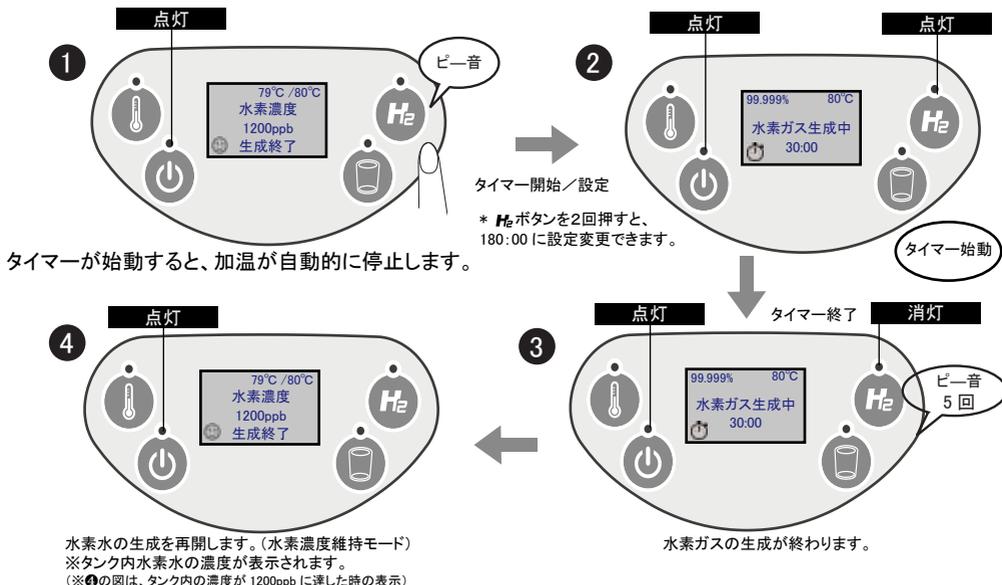


※「カニューレコネクタ」がないと、カニューレを接続できません。

※吸引以外では、カニューレを必ず取り外してください。

水素ガス吸引操作方法

■ 水素水の生成中もしくは、水素生成完了後に、**H₂** ボタンを押すと、水素ガス供給タイマーが始動します。



「水素ガス吸引時間変更」

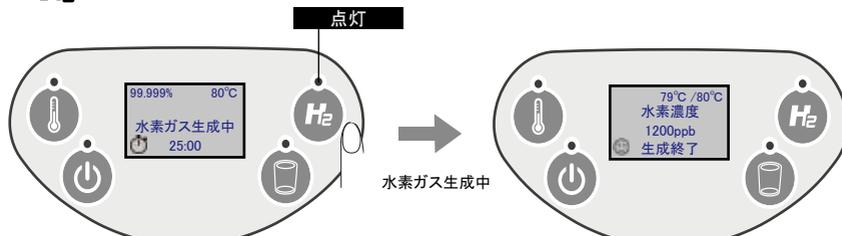
H₂ ボタンを押すたびに、
設定時間が変更できます。⇒



※水素ガス吸引タイマーが始動すると、加温が自動的に停止します。
加温したい場合は、再度「温度ボタン」を押してください。

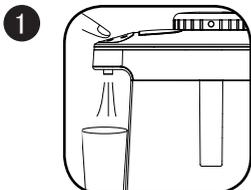
水素ガス吸引停止

■ 設定時間になりますと、自動的にオフになります。
また **H₂** ボタンを、「30分生成中→2回で停止」、「180分生成中→1回で停止」します。

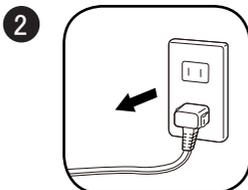


機器電源を切りたい場合、「H₂ボタン」を押して、一旦吸引を停止し、「スタートボタン」を長押しすることで、停止することが出来ます。

排水方法



1 給水口より、飲料水タンク内の水を排出します。



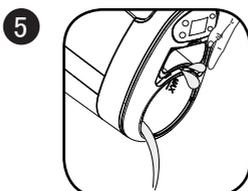
2 電源コードのプラグを抜きます。



3 精製水フタ、精製水フィルター、上フタを取り外し、水受けフタ、水受けトレイも取り外します。



4 水受けトレイ下にありますが、排水チューブのキャップを取り外し、精製水をすべて排出します。



5 本製品を両手で持ち、残った飲料水をすべて排水します。

排水チューブから排水した後も、精製水タンク内に、わずかに水が残る場合があります。

※飲料水タンク内の飲料水がまだ高温の場合は、やけどをしないよう注意してください。
飲料水タンク内の飲料水が冷めてから排水処理を行ってください。

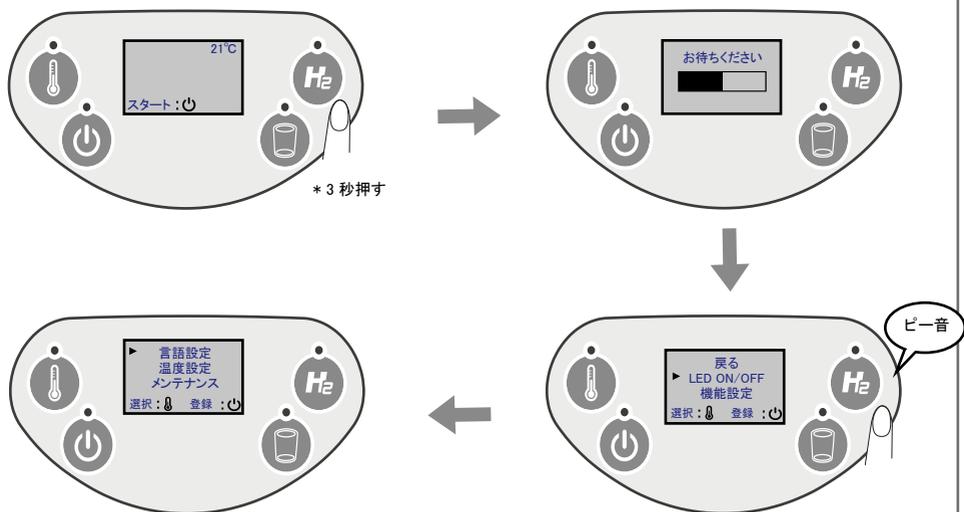
※④の排水キャップを必ず付けてください。水漏れの原因となります。

6 システムメニューと設定

システムメニューの表示

■ 「H₂ボタン」を3秒間押しすと、システム設定メニューが表示されます。

「加温」・「水素生成」など行っていない状態で実行してください。

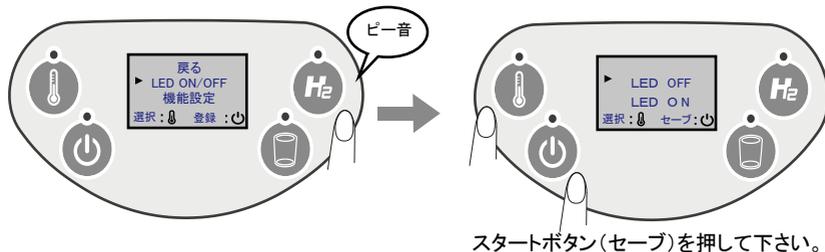


LEDライト表示のオン / オフを切り替えるには、「LED ON/OFF」を選択します。
システム情報の表示と部品交換後のリセットを行うには、「機能設定」を選択します。

[LED ライト表示設定] の ON/OFF 設定

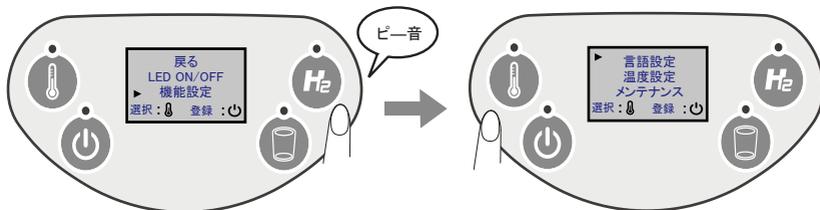
■ 「H₂ボタン」を3秒押し、「温度ボタン」で「LED ON/OFF」を選択します。

LED ランプ表示の「ON / OFF」を「温度ボタン」で選択します。

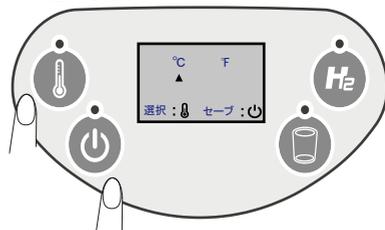


各種設定

■「H2ボタン」を3秒押し、「温度ボタン」で「機能設定」を選択します。



- 1 言語設定を変更するには、「温度ボタン」で[言語設定]を選択し、「スタートボタン(登録)」を押します。
- 2 温度単位の設定を変更するには、[温度設定]を選択し、「スタートボタン(セーブ)」を押します。



- 3 動作状況や部品の残量の確認、部品交換後のリセットを行うには、「メンテナンス」を選択します。「温度ボタン」を押すと、スタンバイモード画面に戻ります。



完了すると、スタンバイモード画面に戻ります。

😊 良好状態

🔧 保守点検時期
残り残量 2% 未満

要交換
動作不良等が原因

その他の、メンテナンス情報



「精製水フィルター」交換時期
「精製水フィルター」交換 P.24
をご参照ください。



販売店へ連絡
してください。

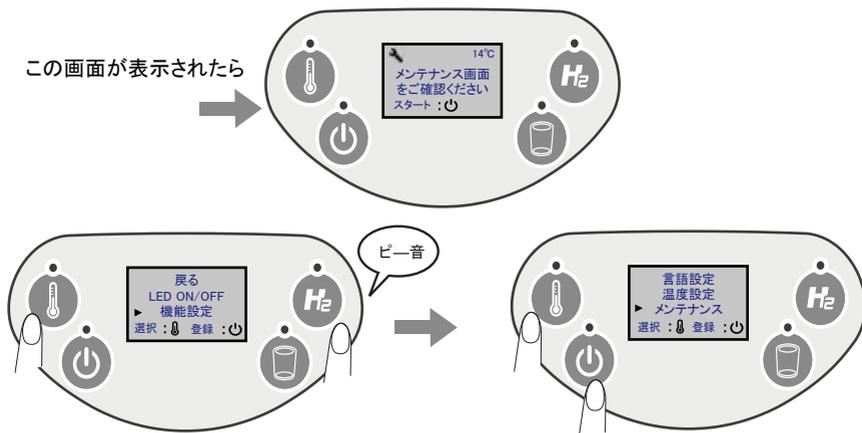


販売店へ連絡
してください。

「精製水フィルター」を交換する際の、操作方法

- 「メンテナンス画面をご確認ください」と表示された場合、部品交換が必要です。
 部品交換後、リセット操作を行います。
 下記手順に沿って操作してください。

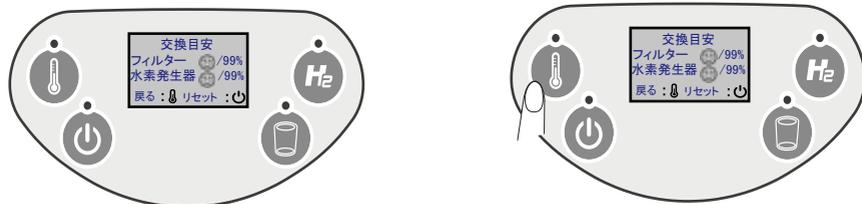
この画面が表示されたら



- 1 「H2ボタン」を3秒押し、「温度ボタン(選択)」を押し「機能設定」を選択します。「スタートボタン(登録)」を押します。
- 2 「温度ボタン(選択)」を押し、「メンテナンス」を選択し、「スタートボタン(登録)」を押します。



- 3 上記画面表示後、部品を交換します。部品交換後、「スタートボタン(リセット)」を押します。
- 4 交換後、「リセットフィルター」を「温度ボタン(選択)」し、「スタートボタン(登録)」を押し、リセットを行います。



- 5 リセットが完了しますと、99%表示に戻ります。
- 6 「温度ボタン(戻る)」を押すと元の画面に戻ります。

※ 精製水フィルターは消耗品です。正規販売店よりご購入ください。(P.26 参照)

7 クリーニングおよびメンテナンス

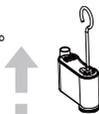
クリーニングを行う前に、必ず電源コードのプラグを抜き、精製水フィルター、水受けフタ、水受けトレーを取り外し、水をすべて排水し、本製品を完全に冷ましてください。(排水方法 P.21 参照)



- ・シンナー、ベンゼン、研磨剤入り洗剤、ブラシ(ナイロン製や金属製)、合成洗剤、アルカリ性石鹼、漂白剤など、本製品の表面を傷つける恐れのあるものは使用しないでください。
- ・底面が濡れているときに、本製品を逆さにして乾かさないうでください。
- ・本製品のクリーニングや乾燥に食器洗い機や食器乾燥機を使用しないでください。

精製水タンクの洗浄

- ①「精製水タンク」と「精製水フィルター」を取り外してください。
「精製水タンク」のみ軽く水で洗ってください。
※精製水フィルターは洗わないでください。



- ②「精製水タンク」洗浄後、タンクをしっかり押し下げて、「精製水フィルター」も取り付けます。

- ・精製水フィルターは洗わないで下さい。
(洗うと水素生成部の中心部に不純物が混入してしまいます)。
- ・(不純物の混入を防ぐため)クリーニング後は必ず、水受けトレーの下にあります。排水チューブから水を抜いてください。
- ・クリーニング後は必ずタンク、フィルターと、排水チューブキャップを再度取り付けてください。
※水漏れの原因となります。

飲料水タンク

- お手入れの際は、濡れた柔らかいスポンジで拭いてください。

- ・容器に傷がつくの防ぐため、磨き粉などの研磨剤、たわし、ナイロンブラシ、ワイヤーブラシ、中心部にワイヤーが使われているブラシなどは使用しないでください。

- [1ヶ月1回 / 定期的] クエン酸洗浄を行ってください。

- ・特に次のような場合は、クエン酸洗浄を行ってください。
 - 表面に乳白色の沈殿物が見られる(カルシウム膜の付着)
 - 水の中に白い / 光る浮遊物が見られる(結晶やミネラル)
 - 表面や水の中にぬるぬるした残留物が見られる
 - 水が臭う

内部容器の状態は、水質や使用頻度によって変わる場合があります。

クエン酸洗浄の方法については、P.26を参照してください。

水受けフタと水受けトレー

- 濡らせて固く絞った布で拭いてください。

電源コードとプラグ

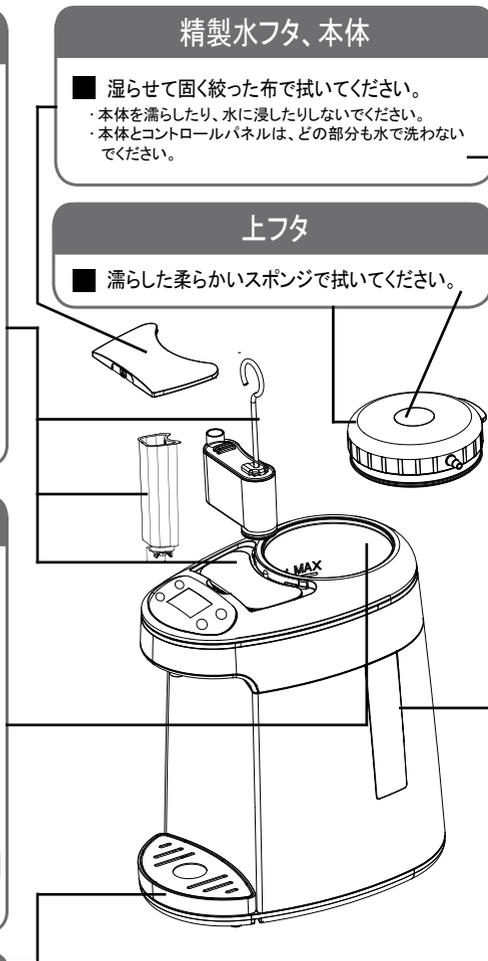
- 乾いた布で拭いてください。

精製水フタ、本体

- 濡らせて固く絞った布で拭いてください。
 - ・本体を濡らしたり、水に浸したりしないでください。
 - ・本体とコントロールパネルは、どの部分も水で洗わないでください。

上フタ

- 濡らした柔らかいスポンジで拭いてください。



本体を保管する場合は

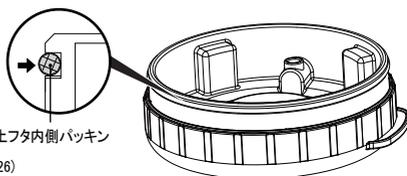
- ・精製水フィルターを取り外してください。
- ・飲料水タンク内の水を空にしてください。
- ・排水チューブから水を抜いてください。
- ・各タンク内を完全に乾かしてください。
- ・ポリ袋などに入れ、袋の口を閉じてください。

上フタ内側パッキンの交換方法

■ 上フタ内側パッキンが摩耗または破損した場合は交換が必要です。年に1回点検してください。

上フタ内側パッキンが固く白くなっている場合（元の色は半透明です）、ひびや亀裂が入っている場合、柔軟性がなくなった場合、上フタと本体の隙間から水や蒸気が漏れる場合など

古い上フタ内側パッキンを外枠から取り出します。次に、図のように新しい上フタ内側パッキンを同じ位置にしっかりとめてください。



新しい上フタ内側パッキンを購入し、交換してください（必ずメーカー公認の交換部品を使用してください）。

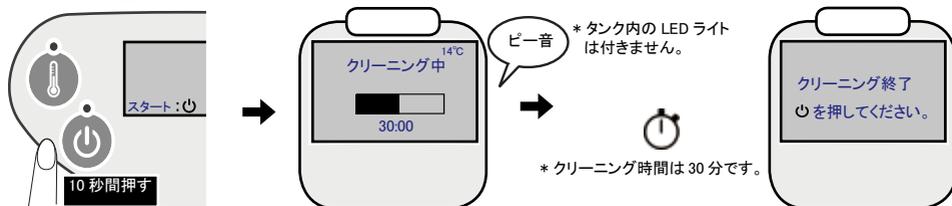
上フタ内側パッキンの交換部品は正規販売店からご購入ください（部品番号：0401026）

クエン酸洗浄の方法



- ・使用期間1ヶ月に1回行ってください。
- ・クエン酸洗浄に使用した水は飲まないでください。
- ・飲料水タンクのみを使用してください（精製水タンクには使用しないでください）。

- 1 本製品の電源プラグを差し、稼働準備ができていること、精製水タンク内に精製水が入っていることを確認します（P.9を参照）。
- 2 20gのクエン酸を別容器に入れ、ぬるま湯で溶かしておきます。それを飲料水タンクに注ぎ、浄水もしくはミネラルウォーターをMAXラインまで入れます。
* MAXライン以上に、飲料水を入れないで下さい。
- 3 上フタを閉じ、「スタート」ボタンを10秒間押しと、クリーニング機能がスタートします。水温を50℃まで加温します。



- 4 「コップボタン」を押し、給水機能で排水し「飲料水タンク」内を洗浄します。クエン酸の臭いが完全になくなるまで、飲料水タンク内に飲料水をMAXラインまで補充し、給水操作を2、3回繰り返し排水してください。
※タンク内の水は、50℃に自動で加温します。排水の際、やけどにご注意下さい。
* 残留物がなかなか取り除けない場合や、スムーズに給水できない場合は、必要に応じてクエン酸洗浄を繰り返してください。
* 残った水を飲料水タンクから出す際はご注意ください。事前に本体の電源プラグを抜き、水受けフタと水受けトレーを取り外し、排水チューブから水をすべて抜いてください。（使用后、排水チューブキャップを必ずつけてください。）（P.21参照）

消耗品

- ・消耗品は正規販売店からご購入ください。
- ・部品の交換時期は、部品名をご確認ください。

部品名	交換時期(目安の時期)	販売価格(税別)	部品番号
精製水フィルター	6～12ヶ月 ※1	5,800円	C71502017-011
シリカケース	6ヶ月 ※1	3,500円	0401317

※1 交換時期は目安となります。ご使用頻度及び、水質によってはその限りではない場合があります。

交換部品

部品名	部品番号	販売価格(税別)	
カニューレコネクター	0401099	1,800円	※使用頻度によってパッキン部分が摩耗することがあります。
上フタ内側パッキン	0401026	800円	※使用頻度によってパッキン部分が摩耗することがあります。
水素発生器	0401316	35,000円	※販売店へご連絡ください、

8 トラブルシューティング

販売店へご連絡いただく前に、次の考えられる原因と解決策をご確認ください。

	問題	考えられる原因	解決策
初めて「使用時	ディスプレイに何も表示されない	▶ 給電されていない、または電源プラグが接続されていない	電源プラグが接続されているか確認してください。
		▶ 水ぬれによる故障	販売店へ連絡してください。
		▶ 上記以外の現象	販売店へ連絡してください。
	ディスプレイに「精製水を入れてください」というメッセージが表示される	▶ 精製水タンク内の精製水が空になっている	精製水タンクに「精製水」を入れてください。
		▶ 精製水タンク下部にある丸い球体が動かなくなっている	精製水タンクを取り外し、精製水タンクの下部にある丸い球体を軽く動かしてください。
		▶ 上記以外の現象	販売店へ連絡してください。
加温と温度維持	タンク内の飲料水が熱くない	▶ 「3時間の自動加熱停止」機能で、自動的に電源OFF状態	加温機能を再度行ってください。(P.16 参照)
		▶ 加温機能モードが選択されていない	「温度ボタン」ボタンを押してください(P.15を参照)。
		▶ 水素ガス吸引を行った	水素ガス吸引時は、加温モードが自動停止します。再度、「温度ボタン」を押して加温してください。
		▶ 上記以外の現象	販売店へ連絡してください。
	ディスプレイに「温度調整中しばらくお待ちください」というメッセージが表示される(P.17 参照)	▶ 沸騰したお湯や熱湯(90°以上以上)を飲料水タンクに入れた	本体の電源プラグを抜き、常温の水に入れ替えてください。排水する際、やけどにご注意ください。水が冷めてから本体の電源を再接続してください。
▶ 飲料水タンク内に水が入っていない			
▶ 上記以外の現象		販売店へ連絡してください。	

水素水の生成

問題	考えられる原因	解決策
気泡が見えない	▶ 給電されていない、または電源プラグが接続されていない	電源プラグを接続してください。
	▶ 水素水の生成機能がオフになっている	スタートボタンを押して機能をオンにします。(P.13 参照)
	▶ 上記以外の現象	販売店へ連絡してください。
気泡が減ったように見える	▶ 水素レベルが 1,200ppb に達すると、「水素濃度の自動維持」機能が自動的にオンになります。このときに気泡が減るのは正常です。	

給水・水漏れ

給水されない、 またはスムーズに水が出ない	▶ 電源プラグが接続されていない	電源プラグを接続してください。
	▶ 給水ロックが解除されていない	▶ コップボタンを1回タッチ、3秒以内に再度「コップボタン」に軽く触れると、給水できます。(P.18を参照)
	▶ 初めて使用する場合や、長期使用しなかった場合	機器内のモーターや管に空気が入っているため、水が出づらいつ場合があります。その際は、数回出水ボタンを押すことで正常に出水するようになります。
	▶ 上フタのコネクター差込口が、コネクター以外の物で塞がれている	コネクター差込口を塞いでいるものを取り除いてください。
	▶ 飲料水タンク内が、白くなっているところがある。	クエン酸洗浄を行ってください (P.26を参照)
水が臭い (または強い塩素臭がする)	▶ 本製品が新しい	新しいプラスチックの臭いが若干ありますが、数回使用するとこの臭いは消えます。健康上問題はございません。
	▶ 本製品を長期間使用していない	必要に応じて、本製品のクリーニング (P.25を参照) またはクエン酸洗浄 (P.26を参照) を行ってください。
	▶ 飲用水に多量の塩素が含まれている	浄水した水・ミネラルウォーターを使用してください。
乳白色の残留物が見える	▶ 水に含まれるミネラル分が多い場合	これはミネラルが固まったものです。定期的にくエン酸洗浄を行ってください。(P.26を参照)。
水漏れ	▶ 本体下部より、水漏れ	水受けトレイ下にある、排水チューブのキャップがついているか確認してください。

問題	考えられる原因	解決策
「メンテナンス画面をご確認ください」と表示される	部品交換時期	「メンテナンス」で指示を確認してください。 (p.23の手順を参照) 消耗品:「精製水フィルター」の交換時期です。販売店へご連絡ください。 水素発生器:販売店へご連絡ください。 (P. 26を参照)
ディスプレイに「販売店にご連絡」というメッセージが表示される	水素セルの動作不良	販売店へ連絡してください。
電源コードが熱くなる	水の加熱中は電源コードが熱くなる場合があります。電源コードには触れないで下さい。故障ではありませんので、ご安心ください。	
水位ウィンドウ内が蒸気でくもる	蛇口から直接水を注ぐと、本体の中に水が入り、使用中に水位窓内が蒸気で曇る可能性があります。 ショートや感電を起こす恐れがあるため、本製品の使用を中止し、十分に乾かしてください。	



問題を解決できない場合や、まだ何らかの問題があると思われる場合は、電源プラグを抜き、30秒後に再接続して、操作を再実行してください。

9 製品の使用に関する Q&A

水以外の液体を本製品に使用しても大丈夫ですか？	水以外の液体を本製品に入れないでください。故障の原因となります。保証の対象外となります。
水は毎日替える必要がありますか？	スケールが溜まるのを防ぐため、少なくとも1日1回は水を替えてください。
ミネラルウォーターを使用しても大丈夫ですか？	大丈夫です。ただし、ミネラルウォーターをご使用の場合は、浮遊残留物が出たり、乳白色の物質が内部容器の表面に形成されたりする場合があります。これはミネラルウォーターの成分によるものであり、健康に害はありません。
本製品のスイッチを入れたまま外出しても大丈夫ですか？	本製品には(ヒーターとジェネレーターへの給電が自動的に切れる)自動停止機能が備わっています。 各機能は下記となります。 ①飲料水タンク内の水がなくなると、自動的に電源がオフとなります。 ②加温・水素生成につきましては3時間経過後自動的に電源オフとなります。 ただし、長期外出の場合は、必ずコンセントを抜いてください。 精製水タンク内・飲料水タンク内の水も抜いてください。(P21 参照)

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合
は、出張料や輸送料など実費を申し受けます。

※「ロットNo.添付」及び「お買い上げ年月日」のご記入がない場合は保証の対象外となります。

型名	OY-FF 02		
※お客様	お名前	TEL ()	- -
	ご住所	〒	
※お買い上げ日 年 月 日 保証期間 お買い上げ日より 本体1年 (ただし消耗品は除く)	※販売店名・住所 ITEC INTERNATIONAL 株式会社 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 2-2-2 神田パークプラザ 5階 お客様専用ダイヤル:0120-35-8888		

- 取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理いたします。販売店にお問合せください。
- 保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。製品のある場所以外での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受ける場合があります。
- 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にロットNo.、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
 - お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷
 - 火災、公害、異常電圧及び地震・落雷・風水害その他天変地変など、外部に原因がある故障・損傷
 - 消耗部品の交換
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しません。大切に保管してください。
 ※保証書にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために使用させていただく場合がございますのでご了承ください。
 ※この保証書は保証期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

ITEC INTERNATIONAL 株式会社

東京都千代田区鍛冶町 2-2-2 神田パークプラザ 5階

